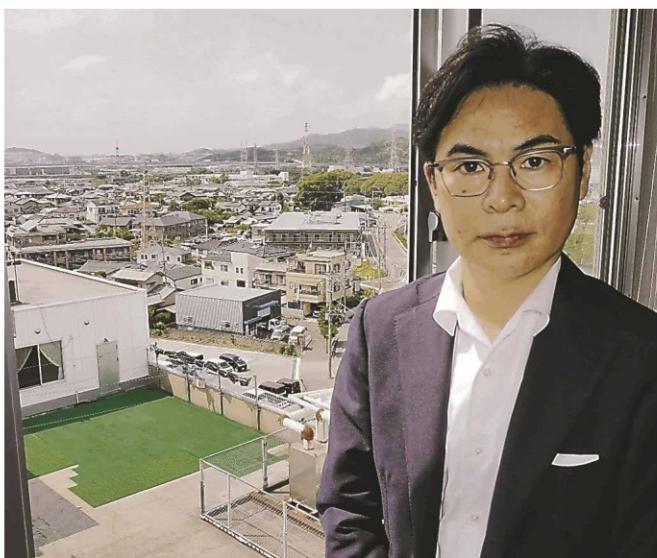


パンの源「液卵」全国に

柏屋町のイフジ産業 シェア1割超



粕屋町の立地を生かして事業を展開する
イフジ産業の藤井宗徳社長



（兆円） 福岡都市圏の地域別
製造業出荷額

年	福岡市	宗像地域	粕屋地域	筑紫地域	糸島市	合計
2010	660					660
2011	630					630
2012	6150					6150
2013	3460					3460
2014	5970					5970
2015						
2016						
2017						
2018						
2019						
2020						

本社ビルの1階部分（約1600平方㍍）が液卵製造工場で、上階には総務・企画部門が入る。鶏卵を割り、膜を取り除いた液卵は「山崎製パン」「フランソア」「リヨーユーパン」といった大手・地場の製パンメーカーで原料として使われている。県内のスーパーにあるパンは、イフジ産業の液卵なしには成り立たな

いといっていいほどだ。
前身は、福岡市早良区で
約1万羽の鶏を飼う養鶏業
だつた。先代社長が戦後に
始め、近くの菓子店などに
卵を卸していた。時は高度
成長期。「これからは業務
用の液卵の需要が増える」
と見込み、事業の転換を決
意した。

自指して営業。当初は断られたというが、日参して契約を獲得。1972年に柏屋町で創業した。

から福岡インター方面へ
(IC)までは約2キロ、さら
に福岡都市高速道が九州
道と国道3号をつなぐ。同
社の液卵は、九州道や国道
3号を通って近隣の製パン
工場へ1日2回、届けられ
る。

パン製造に欠かせない液
卵は「生もの」だ。0～5
度の冷蔵状態で納入する。
粕屋町に立地するからこそ
「互いに隣接しているのに
等しい」(藤井社長)関係

変貌遂げる町とともに成長

売上高創業期の500倍

粕屋郡内には一般にはあまりなじみがないが、業界ではひときわ存在感を發揮している企業がある。粕屋町の「イフジ産業」だ。パンや菓子の製造に使

われる液卵」の全国シェアは1割を超える。県内で流通するパンの「源」となっている。柏屋町から「全國企業」になつた、その歴史とは。 （岩尾款）

らに福岡都市高速道が九州道と国道3号をつなぐ。同社の液卵は、九州道や国道3号を通って近隣の製パン工場へ1日2回、届けられる。

パン製造に欠かせない液卵は「生もの」だ。0~5度の冷蔵状態で納入する。粕屋町に立地するからこそ「互いに隣接しているのに等しい」（藤井社長）関係

立地条件を生かして「全国企業」に進化してきた歴史。さらに、藤井社長は別の視点を付け加える。「粕屋町、粕屋郡は福岡市の周縁部であって、福岡市では

ソフト面も成長を支えてきた。パート従業員確保のため、本社ビルの屋上には約30年前から託児所を設置。近隣に住む子育て世代の働き方に配慮している。

が成り立っている。
80年代には関東、関西にも工場を設けた。2023年3月期売上高（単体）は198億円に達し、創業期の約500倍。シェアはキユーピーなどの大手系を除いた独立系では全国トップという。